行政常任委員会会議録
〔平成 30 年第 1 回定例夕張市議会付託〕
平成 30 年 3 月 16 日(金曜日)
午前 10 時 30 分開会

千 葉 勝 君

◎付託案件

- (1) 議案第 1 号 平成 30 年度夕張市一般会計予算
- (2) 議案第 2 号 平成 30 年度夕張市国民健康保険事業会計予算
- (3) 議案第 3 号 平成 30 年度夕張市市場事業会計予算
- (4) 議案第 4 号 平成 30 年度夕張市公共下水道事業会計予算
- (5) 議案第 5 号 平成 30 年度夕張市介護保険事業会計予算
- (6) 議案第 6 号 平成 30 年度夕張市後期高齢者医療事業会計予算
- (7) 議案第 7 号 平成 30 年度夕張市水道事業会計予算
- (8) 議案第 15 号 夕張市職員給与条例及び夕張市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
- (9) 議案第 18 号 夕張市郷土文化施設設置条例の一部改正について
- (10) 議案第 20 号 夕張市国民健康保険条例の一部改正について
- (11) 議案第 21 号 夕張市介護保険条例の一部改正について

◎出席委員 (8 名)

大 山 修 二 君
本 田 靖 人 君
高 間 澄 子 君
小 林 尚 文 君
今 川 和 哉 君
熊 谷 桂 子 君
君 島 孝 夫 君

◎欠席委員 (0 名)

◎出席参与

市長、板谷監査委員、教育長、理事のほか、消防長、課長等

午前 10 時 30 分 開会

●大山委員長 それでは、ただいまより行政常任委員会を開催いたします。

●大山委員長 本日の出席委員は 8 名、全員であります。

ほかに議長が出席されております。

次に、説明員の出席であります。市長、板谷監査委員、教育長、理事のほか、消防長、課長等が出席されております。

●大山委員長 本日の行政常任委員会は、本会議において付託されました新年度予算及び議案第 15 号、議案第 18 号、議案第 20 号、議案第 21 号について審査を行います。

審査の進め方についてであります。本会議において理事者から提案説明がなされておりますので、初めに通告しております大綱的な質疑を行い、次に、一般会計は歳出より款ごとに、他の会計は会計ごとに一括して順次審査を行い、次に議案第 15 号、議案第 18 号、議案第 20 号、議案第 21 号の審査を行いたいと思いますが、そのように取り進めてご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がないようでありますから、そのように取り進めてまいります。

なお、本常任委員会は、本日 1 日間の開催となっておりますので、議事の進行につきましては、特段のご協力をお願いいたします。

●大山委員長 それでは、大綱的な質疑を行います。

すでに、2名の委員から2件の質問を通告しておりますので、本田委員、小林委員の順で質問を行います。

●本田委員 委員長。

●大山委員長 本田委員。

●本田委員 おはようございます。

私のほうからは、財源確保策につきまして3点ほど質問をさせていただきます。

まず1点目、地方交付税額と繰入額についてお聞きします。昨年3月に抜本的に見直しました財政再生計画と比べて、来年度予算の地方交付税額と繰入額が大幅に増減しております。昨年3月に抜本見直しを実施した際の財政再生計画においては、来年度の地方交付税額が51億5,796万8,000円となっておりますが、来年度予算においては44億7,025万5,000円となっております、3億8,771万3,000円の減額となりました。

これに対しまして、繰入額は財政再生計画では2億8,314万1,000円に対し、予算額が6億1,534万1,000円で3億3,220万円の増額となっております。

そこで、まず地方交付税が大幅に減額となった理由について伺います。また、地方交付税の減少額と繰入額の増加額が類似していることに何らかの関連性があるのか、市長にお伺いします。

2点目に、歳入確保策としてのふるさと納税対策について伺います。歳入の確保策としてのふるさと納税は非常に重要であると考えますが、来年度のふるさと納税の納税額について、目標額を特に設定されているのか伺います。あわせて、今年度のふるさと納税額の現時点での納税額についてお聞きします。また、ふるさと納税確保に向けた何らかの新たな対策を検討されているのか、市長にお伺いいたします。

3点目に、寄附者満足度向上策について伺います。平成29年第1回定例会におきまして、ふるさと納税をお寄せいただいた寄附者の皆様に対し、寄附実感

を持っていただくためにですね、例えば中学生全員にタブレット端末を支給してはどうかという私の質問に対しまして、教育長のほうからは、非常に大きなメリットがあると思う、子ども子育て支援の活用に寄附された支援者のご意向を尊重するためにも全体の予算配分のバランス等考慮した上で可能な限り希望に添えられればいいといった旨のご答弁がございました。その後の検討結果について、教育長に伺います。

以上、3点質問いたします。

以上です。

●大山委員長 鈴木市長。

●鈴木市長 本田委員のご質問にお答えをいたします。

まず初めに、地方交付税の部分の差額の主な理由についてご説明をしたいと思います。

地方交付税における平成30年度予算と、財政再生計画の差額、先ほどご質問の中で触れていただきました3億8,771万3,000円については、全て普通交付税の差額でございます。地方交付税は、国が定めた単位費用、こちらに各自治体の数値を乗じたことにより得られる基準財政需要額と、市税、地方贈与税等の収入見込みである基準財政収入額との差引きによって得られるものであります。ご質問の中にもございましたけれども、財政再生計画の抜本の見直しにおいて、平成29年度から平成41年度までの普通交付税に算定に当たっては、平成28年度の算定実績に基づき、推計し計上したところであります。

平成30年度予算策定において、改めて平成30年度分の地方交付税を算定するに当たり、平成29年度の算定実績をもとに、国から示された平成30年度地方財政計画の交付税の伸び率等を勘案して計上したところ、3億8,771万3,000円の差額が生じた結果になったところであります。うち、臨時財政対策債1億7,400万円が予算計上上は、地方債に分類されているため、実質の差額は約2億1,000万となります。

主な要因でございますが、基準財政需要額に係る

ものとして、地方経済雇用経済対策費 1 億 951 万の減。包括算定経費の減額 5,521 万 9,000 円の減。基準財政収入額に係るものとして、市民税、固定資産税、国有資産等所在市町村交付金など 7,280 万円の増となっています。

今後につきましては、交付税に減額を踏まえまして、執行経費の精査等に対応してまいりたいと考えております。

次に、繰入金についてお答えをいたします。繰入金につきましては、財政再生計画の抜本の見直しと比較をいたしまして、平成 30 年度予算が約 3 億 3,200 万円の増となっているところでございます。

主な要因でございますが、財政調整基金繰入金が 1 億 8,870 万 4,000 円の増。幸福の黄色いハンカチ基金繰入金が 1 億 6,363 万 9,000 円の増となります。財政調整基金繰り入れは、普通交付税の減を含め、一般会計全体で不足する一般財源分を繰り入れしたものであります。幸福の黄色いハンカチ基金の繰り入れについては、平成 30 年度予算において地域の再生に真に必要な事業として、財政再生計画から追加及び大幅に増額して予算計上した歳出にかかる財源として活用したものです。

少し細かくなりますが、その主な事業でございますけれども、スクールバス運行、夕張高校魅力化事業、炭層メタンガス試掘調査、ふるさと納税返礼品にかかる経費などがございます。

次に、ふるさと納税に関するご質問にお答えをいたしたいと思っております。ふるさと納税のまず目標のところでございますが、ふるさと納税に関しましてはあくまでも善意のご寄附ということで、明確に目標金額ということで定めていることではございませんが、しいて申し上げますと財政再生計画上計上しております歳入の見込みといたしまして、9,900 万円ということになるかというふうに思います。先ほど、ご質問の中にごございました現時点での実績につきましては、約 3 億 4,000 万円という状況に 2 月末時点となっております。ご質問の中でご指摘いただきましたとおり、ふるさと納税によるシェアは本市にと

って大変重要な財源となっております。ふるさと納税額、またその活用額ともに年々ふえている状況でございます。本市の地域再生施策に大切に活用させていただくことは当然として、今後もそうなのですが、寄附者に対するふるさと納税の使い道のご報告、何に使ったかというご報告ですね。それとあと、昨年、夕張高校魅力化プロジェクトを実施した際に、ガバメントクラウドファンディングという形で 700 万円程度に対して、2,100 万という非常にありがたいご寄附が寄せられました。こういったガバメントクラウドファンディング、こういったものが今後できないか、また新たな返礼品の開発、こういったことが重要かというふうに思っております。

今後ともですね、丁寧な情報発信や寄附した方が寄附実感につながる、そういった活用方法を意識をして、この貴重な財源でありますふるさと納税の確保に努めてまいりたいというふうに思います。

平成 29 年第 1 回定例会における教育長発言を受けての検討結果については、教育長より答弁させていただきます。

●大山委員長 今教育長。

●今教育長 おはようございます。

本田委員の寄附実感を持っていただくため、中学生全員へのタブレット端末の支給についてのご質問にお答えします。

昨年の第 1 回定例市議会において、時代に即した教育環境の資するツールとして、タブレットの活用は有効であろうとの思いで答弁をさせていただきました。市といたしましては、今年度 ICT を活用した人材育成の方針に沿って、タブレット型端末を活用したマンツーマンオンライン英会話を導入したところでございます。

これは、市が掲げるグローバル人材育成という大きな方針に沿ったものでございまして、小中高一貫での実施は北海道で初の事例であり、非常に大胆な策にかじを切ったところであると思っております。

また、寄附者でございます練成会様からの企業版ふるさと納税は、ご寄附を活用した夕張の子どもた

ちの教育への投資でもある今走りだしたオンライン英会話授業は、寄附者に大きな成果を実感いただいた好事例であろうと考えております。子どもたちのために使って欲しいとのメッセージを添えてくださる寄附者が多くおられることも現実でございますので、今後も寄附者に寄附実感を持っていただくことを意識しながら、取り組んでまいりたいと考えております。

以上です。

- 大山委員長 本田委員、よろしいですか。
- 本田委員 委員長。
- 大山委員長 本田委員。
- 本田委員 まず、一点目の地方交付税に関するご答弁について、再質問をさせていただきたいと思っております。

難しい言葉もいっぱい出てきましたが、要するに国のほうの計上の伸び率なんかの勘案をしたというところの部分が大きいのかな。本市に限ったお話ではなく、全国的に地方交付税の減額につながる結果となっているのかなと思うのですが、財政再生計画の根幹をなす地方交付税による収入といいますか、歳入の額は非常に重要だということで、財政再生計画に計上している額よりも今後ずっと減額が続くようなことがあると、いろいろな課題が新たに発生してきってしまうと思うのですが、その辺について総務大臣と特に市長の間でお話をされたことがあるのかどうかお聞きします。

- 大山委員長 鈴木市長。
- 鈴木市長 本田委員の再質問にお答えをいたします。

先ほど、今のご質問の中でご指摘がございましたが、ご指摘のとおり平成 30 年度地方財政対策におきまして、先ほどご説明をいたしました地方交付税及び臨時財政対策財、こちらが 2 パーセント減という状況になっております。そういった全国におけるそういった交付税全体の確保に関する影響、これが非常に大きいところです。

この件に関しましては、交付税の確保についてこ

れは本市だけの問題ではございませんので、全国の市長会など、そういった団体も継続的に要請行動をしているところであります。

さらには、先ほどご指摘がございましたとおり本市の場合は、財政再生計画を着実に推進していくに当たり交付税の確保は極めて重要でございまして、そういった状況の中で、こういった見込み貸しも示されたことから直ちに本年の 1 月に、野田聖子総務大臣との面会をし、計画期間の財源確保について引き続きご支援のほうをお願い申し上げたいということについて、強く要請をし、ご理解をいただいたというふうに考えているところであります。

以上です。

- 大山委員長 本田委員、よろしいですか。
本田委員。
- 本田委員 大臣にご理解をいただいたということで、今後も国の状況を見守りながら引き続き交付税の確保に向けて、ご努力をいただければというふうに思います。

続けて、3 点目の寄附者の寄附実感に関する質問について再質問をさせていただきますが、先ほど市長のほうからふるさと納税の対策の件のところで触れていただいたのですが、やはり寄附者の方に寄附して良かったと、こういうことに活かされて良かったという実感を持っていただくことは非常に重要だということを、教育長にも市長にもご理解をいただいているところで安心をしたところなのですが、タブレット端末の導入についても計画的にということでお話をさせていただきましたけれども、それ以外に検討する必要がないかなど。

例えば、先ほど市長のほうからお話がありましたが、ガバメントクラウドファンディングにおきましては、非常に露出も高くですね、寄附していただいた方々には満足をいただいているものだと私は理解をしているのですけれども、一方でガバメントクラウドファンディングに関しまして、募る段階でこういう目的で使用しますということを銘打って募るとい形になりますので、本市の中で新たな課題が生

まれたところに対して、そのお金を充てるというのはなかなか難しい部分があるというところが、言わばデメリットとしてあると思うのです。

それなので、一般的にふるさと納税として、子ども子育ての指定をしていただいたふるさと納税を有効活用するということはまたガバメントクラウドファンディングを活用した活動とは別の、何というのでしょうか、ふるさと納税を増額に向けた活動になってくると思うのですね。そういった意味で、タブレット端末はあくまでたとえば例でして、それ以外の部分でですね、寄附者の満足につながる政策と言いますか、政策について何か今の段階で検討されていることがあれば教えていただければと思います。が、どうでしょう。

●大山委員長 今教育長。

●今教育長 本田委員の再質問にお答えいたします。

本田委員もご承知のとおり、今行おうとしているマンツーマンオンライン英会話というのは北海道では初、また全国的にも小中高一貫のマンツーマンオンライン英会話というのは、非常に珍しい対応であるということをいろいろな教育関係者からお聞きしております。

そのような弁から、今のこの実態を教育関係者並びに寄附者にもですね、お伝えをして、よく北海道道教委のほうから承認が得られたと言われるほど、非常に大きな政策に打って出たというふうに認識しております。

その面から、今このマンツーマンオンライン英会話をなんとかこう定着させて、そして充実させた形に仕向けていくというのが、私どもの今捉えている寄附者に対しての寄附実感を持っていただく最高レベルの対応策だというふうに認識してございます。

まだまだこれから、私どもが考えていかなければいけないふるさと納税の活用については、これにはとどまらない考えであります。これについては、また後々いろいろな考案をALT委員の皆様にも指し示していきたいなという形で今のところは考えてお

ります。

以上でございます。

●大山委員長 よろしいですか。

●本田委員 はい。

●大山委員長 それでは次に、小林委員。

●小林委員 おはようございます。

私からは通告をさせていただいておりますので、観光施設等の解体、また維持管理について何点か確認も含めて質問させていただきます。

まず初めに、平成 30 年度実施予定の石炭の歴史村公園内にある旧売店施設の解体工事と、また幸福の黄色いハンカチ思い出広場の園路補修工事について、これらについて伺いさせていただきます。

石炭の歴史村旧売店施設の解体工事につきましては、去る 2 月 22 日の開催の行政常任委員会の中で、平成 30 年度第 1 次計画変更として示され、解体工事の実施理由として、まず本年 4 月末にリニューアルした石炭博物館のオープンを迎えるに当たり、駐車場からゲートをくぐったところの売店等が閉鎖したまま放置されている状態でいたずらされることもあったり、またもしくは間違っって入ってけがをする恐れがあるということを踏まえての安全性を考慮して解体工事である、という説明というふうに私は理解をしております。私どもも、実際何度か視察を含めて場所を伺ったことがありますけれども、かなり老朽化が進んでおり安全面からも早期の解体が必要と思っておりました。

一方、4 月 28 日の全面リニューアルオープンをすることが決定した石炭の博物館、これは来場者から見た場合についても、老朽化した旧売店施設はマイナスのイメージとなるのではないかと考えます。解体工事の理由は、安全面だけではないと思いますが、これらの環境面も考慮したものだったのかを確認のために伺いたいと思います。

また、幸福の黄色いハンカチの思い出広場園路の補修工事についても、これらも必要性があるかと思っておりますけれども、平成 30 年度に実施をされる理由を伺いたいと思います。

次に、石炭の歴史村公園内にある老朽化した施設、建造物について伺います。石炭の歴史村公園内には、石炭博物館近辺には旧水上レストラン、またいろいろな付帯施設もまだ多く、老朽化した施設が建造物として残っております。旧売店施設同様に、今後も計画的に解体等実施をされていくのか、これについても伺いますので、以上ご答弁よろしくお願ひしたいと思ひます。

●大山委員長 鈴木市長。

●鈴木市長 小林委員のご質問にお答ひいたします。

初めに、石炭の歴史村公園内の売店施設の解体工事についてでございます。平成 30 年 4 月 28 日に石炭博物館がリニューアルオープンということでございますが、今後ご質問の中にございました、石炭博物館の来場者が増加が見込めること、また旧売店の老朽化が著しく、来場者の安全性を確保するため旧売店を解体するというものでございます。

また、幸福のハンカチ思い出広場の改修工事についてでございますが、同広場につきましては現在、指定管理者により管理をいただいているところでありますが、本市を代表する観光資源の一つでもあります。平成 28 年度に実施した思い出の家のリニューアルやカフェの開設など施設の魅力を高めるための施策を実施した効果がございまして、平成 29 年度の来場者は前年度に比べ 19 パーセント増の 2 万 4,000 人ということになりました。平成 30 年度につきましては、本年度から推進しております観光の目玉ともなり得る市の施設でもあることから、単に魅力を高めるといだけではなく、観光客の皆様の安全確保や利便性向上を図るため、広場の排水補修工事及び園路補修を行い、車いすで来場されるかたにも配慮しようというものになります。

次に、石炭の歴史村公園内にあります老朽化した施設等の計画的な解体等についてのご質問でございますが、本市には石炭歴史村公園内以外にも多くの老朽化した施設がございまして、現在、市ではこれらの老朽施設の除却について、市全体の中において緊

急性など考慮しながら、優先順位をつけまして計画的な除却ということを行っているところでありますので、今後ともこういった視点の中で対応してまいりたいと考えています。

以上です。

●大山委員長 小林委員、よろしいですか。

小林委員。

●小林委員 ご答弁ありがとうございました。

ただ今説明いただきましたが、安全性も考慮して解体工事ということが今、踏まえて、お伺ひいたしましたところでございますけれども、これらの解体工事の着工時期ですけれども、これらについてどの時期を考えておられるのかお伺ひしたいと思ひます。

●大山委員長 鈴木市長。

●鈴木市長 解体の工事の時期ということにつきましては、石炭博物館の開館期間が 4 月 28 日から 11 月 4 日までを現在のところ予定しております。来場いただく皆様の影響を考慮いたしますと、閉館後の 11 月以降が適切ではないかということで考えています。

●大山委員長 よろしいですか。

小林委員。

●小林委員 リニューアルオープンには間に合わないという部分で、多分、今後とも先ほども老朽化しているので、そういうものがこれからもやはり観光客また交流人口の中でも、そういうものがやはりメリットとして映らないものがありますので、11 月以降工事の支障のないようお願いをしたいと思ひます。

また、市長の市政執行方針の中で書かれている真の地域再生に必要な 5 つの施策の一つである交流人口の拡大、リニューアルした石炭の博物館周辺整備の今後の課題は多くあると思ひます。先ほど市長も説明されましたとおりに優先順位ということですが、財政再生団体である本市としてこれらの周辺整備は、私は早急に取り組むべきものとは思ひておりますが、先ほどの優先順位の中で難しいということもわかります。

しかし、周辺には広大な敷地もあるわけでありますから、たとえば例ですけれども、市民、市内の団体等に土地を解放して花を植えるなり、有効な利用の環境整備につながるような活用も検討していったかどうかと考えておりますけれども、市長の見解がございましたらお聞かせください。

●大山委員長 鈴木市長。

●鈴木市長 石炭博物館の部分について申し上げるならば、指定管理者が炭鉱の記憶のほうになられるということございまして、そういった指定管理者の部分と市において管理すべきところ、リニューアルオープンをいたします博物館にあわせて、そういった周辺の整備については指定管理者と協議をしながら、できればみんながご利用いただく施設ではございますが、そういった市民の皆様にもお力添えをいただきながら指定管理者と協議しながらそういった小さな活動かもしれませんが、例えば景観上お花を植えるだとか、そういったことが可能なのであれば今後協議をする中で検討していきたいと考えています。

●大山委員長 小林委員。

●小林委員 ありがとうございます。

私どもも、見させていただいている中では、やっぱりあそこ広大な土地で秋になると大変、綺麗な場所でもあると。今、市長が申されたよう中で、十分教育財団また市民等の協議を重ねて、私もあそこに何か大きな施設を建てるとか予算をつけるとか言うつもりはございません。そういう中で、どういう形であればそういうことが可能かどうか、今後とも検討よろしくお聞きしたいと思います。

次に、幸福の黄色いハンカチの想い出広場につきましては、平成 30 年度の開示を調べた中にこれ図面が添付されていますが、この図面、大変どこに建物があるか、排水の補修それがなかなかわかりづらいものでありますので、今後、誰が見ても工事する場所、また特定できるような図面の添付をお願いしたいと考えておりますけれども、よろしいでしょうか。

これは、要望としておきます。失礼いたします。

それとですね、要望といたしまして最後に工事費の積算については款別審査の中でまたお聞きしたいと思っておりますので、今回実施しようとする工事の概要については具体的に後ほど説明をお願いしたいと思います。

以上で質問、終わりたいと思います。

●大山委員長 それでは、これで大綱的な質疑を終わります。

●大山委員長 次に、各会計予算案の審査に入ります。

初めに、一般会計であります事項別明細書により歳出から審査してまいります。

それでは、53 ページをお開き願います。

1 款議会費、54 ページまでであります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次に、2 款総務費 55 ページから 72 ページまで。

高間委員。

●高間委員 2 款総務費の 1 項地域振興費の中の 9 節、62 ページです。その 9 節の旅費の中に、実費弁償 296 万という金額があるのですけれども、これは前年度 4 万 5,000 円ぐらいだったかなと思うのですが、これは誰に充てて支払う物なのかお尋ねいたします。

●大山委員長 答弁調整のため、休憩いたします。

午前 11 時 06 分 休憩

午前 11 時 07 分 再開

●大山委員長 会議を再開いたします。
富永課長。

●富永企画課長 高間委員のご質問にお答えいたします。

62 ページの地域振興費の旅費の実費弁償につきましては、2 点ほどございまして、一つ目は、高校魅

力化の関係で高校魅力化アドバイザーをお願いしておりますのでアドバイザーの招聘費、あとは高校魅力化でキセキの授業等実施しますので、その講師の招聘費を予算計上しております。

もう 1 点が、関わり人口の創出のほうでして、関わり人口の方来ていただいて例えば市民、活動人口の皆様と関係人口の皆様集まって、学びの場とするようなことも構想として入れておりますので、その際の講師の招聘費等を計上しているものでございます。

●大山委員長 よろしいですか。

高間委員。

●高間委員 今いろいろ説明いただきました、ありがとうございます。これ含めて、例えば誰に充てるものかというのはちょっと説明いただきましたけれども、トータルで何回分で何人で積算しているのかおわかりであれば教えてください。

●大山委員長 富永課長。

●富永企画課長 先ほど 2 点ほど申し上げましたが、高校魅力化の関係でアドバイザーが毎月 1 回来られますので、その要するに 12 回ですね。

あと、高校魅力化の関係で、キセキの授業の講師招聘で年 20 回を見込んでおります。

あと、関係人口のほうで申し上げますと、講師の旅費としまして 4 人分、4 回分見込んでおります。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

●高間委員 わかりました。ありがとうございます。

●大山委員長 ほかにございませんか。

本田委員。

●本田委員 同じく 62 ページ、地域振興費の 13 節委託料の中で、スポーツ交流創出委託料 200 万円。この積算根拠について、お聞きします。

●大山委員長 押野見課長。

●押野見課長 本田委員のご質問にお答えいたします。

スポーツ交流創出委託料でございますが、人件費

相当分として 75 万 3,000 円、燃料費として 3 万 9,000 円、旅費として 2 万 9,000 円、合宿モニター調査費用として 100 万円、それと管理手数料で 18 万 2,000 円の計 200 万円を計上しております。

●大山委員長 よろしいですか。

本田委員。

●本田委員 この支払先、人件費含んでいますけれども、支払先はどちらになりますか。

●大山委員長 押野見課長。

●押野見教育課長 昨年同様、体育協会を想定しております。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

本田委員。

●本田委員 はい、その件はわかりました。

続けて、同じく委託料の中の地域おこし協力隊員活動支援委託料 303 万円、こちらの積算根拠についてお聞きします。

●大山委員長 富永課長。

●富永企画課長 本田委員の質問にお答えいたします。

先ほども、高間委員のご質問の時にも申し上げましたが、来年度、高校魅力化のなか実施いたしまして、その中で、公設塾の運営をしております。

その内訳といたしまして、塾の講師として地域おこし協力隊を使っておりますので、そのマネジメントですとか、研修等のサポートの費用。あと、公営塾でのカリキュラムの作成に関する助言とかですね、あとは実際に塾講師の研修等の交通費、出張費等を計上しております。

あとそのほかに、地域おこし協力隊の日々の活動の中での車のリースとかですね、あとは塾の運営の際の光熱費、通信費、あとはガソリン代等を計上しています。

- 大山委員長 よろしいですか。
答弁調整のため、休憩いたします。

午前 1 1 時 1 3 分 休憩
午前 1 1 時 1 4 分 再開

- 大山委員長 会議を再開いたします。
富永課長。
- 富永企画課長 先ほど答弁の中で、委託先の特定の業者を申し上げてしまったのですが、そこは発言の撤回をお願いいたします。
- 大山委員長 わかりました。
よろしいですか。
本田委員。
- 本田委員 ただ今の件については、わかりました。
続けて、よろしいでしょうか。
次 63 ページ、同じく 13 節委託料の中の関わり人口のプラットフォーム整備委託料、あわせて関わり人口交流促進業務委託料についての積算根拠についてのご説明をお願いいたします。
- 大山委員長 富永課長。
- 富永企画課長 本田委員のご質問にお答えいたします。
関わり人口につきましては、2 点ほどテーマを設けて関わり人口を構築して、創出してまいりたいと考えておまして、1 点目が廃校を活用した集落コミュニティの再生という部分と、2 点目が夕張の歴史文化の継承と、2 点をテーマに関わり人口を創出していこうと考えておまして、1 点目の廃校活用型の集落コミュニティの再生というところに関しまして、その関わり人口創出の体制を構築するためのファシリテーターの招聘費と、あと関わり人口の創出に向けて情報発信も必要でございますので、登録サイトを構築すると。あと、廃校活用する際の研修室の備品購入等の整備、あと光熱費等を計上しているというものでございます。
2 点目の夕張の歴史文化の継承をテーマとした関

わり人口創出に関しまして、先ほども申し上げましたが、情報発信が必要でございますので情報のやりとりする際のサーバーの購入費ですとか、全て委託でやるのですけれども、サーバーの購入費ですとか、あと歴史文化はですね、関係の調査などをちょっと委託させていただこうと思っております。あとは消耗品費とかですね、その辺を関係する全てを委託でやろうということになっております。

以上でございます。

- 大山委員長 よろしいですか。
本田委員。
- 本田委員 全て委託でというご説明でありましたが、廃校活用の集落コミュニティと歴史文化継承、それぞれ委託先が異なるかと思うのですが、どういった企業に委託するのか、その選定方法についてお聞きします。
- 大山委員長 富永課長。
- 富永企画課長 関わり人口創出に関しましては、もともとその地域の活動の芽生えというものが、それぞれ廃校活用型の集落コミュニティとか夕張の歴史文化の継承に関しても出てきているという認識がございますので、基本的には市内の市民団体のほうをお願いする考えでおります。
以上です。
- 大山委員長 よろしいでしょうか。
- 本田委員 一旦、いいです。
- 大山委員長 ほかにございませんか。
今川委員。
- 今川委員 質問は 63 ページ、地域振興費の 15 節工事請負費の部分なのですが、こちら拠点複合施設建設工事については平成 30 年度に完成するという施設ではないとは思いますが、平成 30 年度はどの部分までの工事を行う予定で予算を計上しているのか、よろしくをお願いいたします。
- 大山委員長 鈴木課長。
- 鈴木建設課長 拠点複合施設の建設工事につきまして 30 年度については、基礎部分程度を予定しております。

●大山委員長 よろしいですか。
今川委員。

●今川委員 その部分については、わかりました。
続けてよろしいでしょうか。

●大山委員長 はい。

●今川委員 同じく 63 ページ、19 節負担金補助及び交付金の部分で創業支援事業補助、こちらについてお聞きします。

こちら平成 29 年度に始まった事業だと思うのですが、平成 29 年度の利用状況について募集件数に対する支援件数と支援金額についてお聞きします。

●大山委員長 古村課長。

●古村産業振興課長 今川委員の質問にお答えさせていただきます。

創業支援事業につきましては、2 件の応募がありまして、2 件補助するような形になっております。上限が 1 件 100 万ということになっておりますので、2 件で 200 万円ということになっております。

●大山委員長 よろしいですか。

今川委員。

●今川委員 2 件の応募、200 万ということでしたが、募集件数は何件だったのでしょか。

●大山委員長 古村課長。

●古村産業振興課長 募集につきましては、当初は 3 件を予定しておりましたけれども、創業支援事業につきましては 2 件、最終的に 2 件の募集に変更させていただいています。資格取得支援事業のほうの件数が多くなってきたということもありまして、創業支援につきましては 2 件の募集ということにしております。

●大山委員長 よろしいですか。

今川委員。

●今川委員 確認なのですが、今年度は昨年度と同じような運用で 2 件の募集をするという条件で、昨年度は 2 件の申請があり、適用があったということでしょうか。

●大山委員長 古村課長。

●古村産業振興課長 今川委員の質問にお答えします。

30 年度につきましても、創業支援補助 200 万ということになっているのですが、これも 2 件 100 万円上限として 2 件ということで予算計上させていただいております。

●大山委員長 よろしいですか。

ほかにございますか。

本田委員。

●本田委員 63 ページの一番下、19 節負担金補助及び交付金の中の子育て世帯向け住宅取得等助成金について、何件の助成を見込んでいるのかお聞きします。

●大山委員長 鈴木課長。

●鈴木建設課長 本田委員ご質問にお答えいたします。

まずですね、新築住宅なのですが、今年度募集と同じに市民 1 件、転入 2 件、中古用住宅につきましては市民 5 件、転入 5 件、リフォーム市内 5 件、市外 5 件となっております。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

本田委員。

●本田委員 この件は、わかりました。

続けて、同項目の地域人材育成助成金の積算根拠についてお聞きします。

●大山委員長 答弁調整のため、休憩いたします。

午前 11 時 23 分 休憩

午前 11 時 24 分 再開

●大山委員長 会議を再開いたします。

富永課長。

●富永企画課長 本田委員のご質問にお答えいたします。

地域人材育成事業につきましては、市が認めた研修への参加費等対象としておりまして、15 回程度の実施の計上をしております。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

●本田委員 わかりました。

●大山委員長 ほかにございませんか。

高間委員。

●高間委員 同じく 63 ページなのですけれども、14 節の中に音響機材借料とか、あと会議用備品借料というふうに載っておりますけれども、これの用途というかどうかというふうにするのかということをお尋ねいたします。

●大山委員長 富永課長。

●富永企画課長 高間委員のご質問にお答えいたします。

こちらは関係人口絡みでございまして、関係人口創出に当たっては、例えば学びの場として石炭博物館の活用を考えてございまして、その際のイベントの費用というふうに計上しております。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

●高間委員 わかりました。

●大山委員長 ほかにございませんか。

高間委員。

●高間委員 次のページの 64 ページでした。この中ですね、イベント出展負担金というのが載っているのですけれども、これのイベントの中身をちょっと聞かせていただきたいと思います。

あと会場が、これはまた後で聞きます。まずこのどのようなイベントなのかということで。

●大山委員長 富永課長。

●富永企画課長 高間委員のご質問にお答えいたします。

こちら関係人口の創出に関係するイベントへの参加でございまして、夕張市も含めて空知管内で「炭鉄港」とかそういう取り組みございまして、そちらのほうがですね、東京のほうでイベント出店を計画しているということで、それとともに夕張の取り組みも合わせて発信していこうということで、東京でのイベントの参加費として計上してございます。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

高間委員。

●高間委員 これは、会場費のみなのか、例えば、何人のこの予算を組まれているのか、そこら辺は詳しくわかりますか。

●大山委員長 富永課長。

●富永企画課長 高間委員のご質問にお答えいたします。

計上している額は、イベントのブースの場所代になります。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

●高間委員 わかりました。

●大山委員長 ほかにございませんか。

本田委員。

●本田委員 同じく 64 ページの、ただいまの質問と同じ項目のところ、高校生チャレンジ補助 1,370 万円。こちらの積算根拠についてお聞きます。

●大山委員長 富永課長。

●富永企画課長 本田委員のご質問にお答えいたします。

大きなものとしましては、チャレンジ補助金といったしまして入学諸費用の支援ですとか、あと部活動の遠征費、あとはこれまでにございましたけれども資格とか試験等のテスト代の補助、そういったものを計上しております。

●大山委員長 よろしいですか。

本田委員。

●本田委員 そのうち、入学時の諸費用の支援の具体的な金額はいくらで見積もられていますか。

●大山委員長 富永課長。

●富永企画課長 入学支援につきましては、1 人当たり 10 万円の計上になっています。上限ですね、10 万上限となっています。

●大山委員長 よろしいですか。

●本田委員 はい。

●大山委員長 ほかにございませんか。

千葉委員。

●千葉委員 71 ページ、総務費の諸統計費の中の 1 節報酬で 184 万 5,000 円の調査員で報酬がついているのですけれども、今年度どのような統計調査を予定しているのか、お願いいたします。

●大山委員長 寺江課長。

●寺江総務課長 千葉委員のご質問にお答えいたします。

この統計調査費の中で計上してございます調査員報酬でございますけれども、5 年に 1 回の回数で実施しております住宅土地統計調査にかかる調査員報酬によるものでございます。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

●千葉委員 はい。

●大山委員長 ほかにございませんか。

ないようですので、次に 3 款民生費、73 ページから 83 ページまで。

今川委員。

●今川委員 民生費 1 目社会福祉総務費、73 ページの 13 節委託料子どもの学習支援事業委託料についてなのですが、こちらの金額の積算根拠についてお願いします。

●大山委員長 菅谷課長。

●菅谷生活福祉課長 こちらにつきましては、委託料ということで子どもの学習支援に直接携わってくださる、例えば学習塾の講師経験者の方に対する人件費的な負担ですとか交通費ですとか、あと教材の作成料などを想定した委託料となっております。

以上でございます。

●大山委員長 よろしいですか。

今川委員。

●今川委員 その委託を想定している事業の詳細について、もう少し詳しくお願いいたします。

●菅谷生活福祉課長 対象となる子どもさんというのは、被保護世帯ですとか準保護世帯の小学生から高校生までを対象にしておりまして、主旨としましては、いわゆる貧困、生活保護級層をですね、十

分な教育を受けられないということに基づく貧困の連鎖のようなものを防止するというような主旨がございまして、それで塾に行けないですとか、家庭としては教育させたいというようなお子さんを募りまして、週 1 回程度のイメージです。各子どもさんの希望に応じて、学校の学習を補佐、補助するような内容の学習指導を行おうというような事業を想定しております。

以上でございます。

●大山委員長 よろしいですか。

今川委員。

●今川委員 学習支援を委託する先の支援員の講師の方の人数の規模などおわかりでしたらお願いします。

●大山委員長 菅谷課長。

●菅谷生活福祉課長 人数については、1 名を想定しております。1 名の講師の方で、10 名程度のお子さんを教えることができるというような想定をしているところでございますが、29 年度はそこまでの人数には達していなかったということで、30 年度も講師 1 名で実施できるというふうに想定しております。

以上でございます。

●大山委員長 よろしいですか。

●今川委員 はい。

●大山委員長 ほかにございませんか。

熊谷委員。

●熊谷委員 76 ページの 6 目老人保護費のところの扶助費なのですが、1,494 万 7,000 円減額となっているということで入所者が減っているのかなと思うのですが、以前、待機者がいると聞いていて、そう簡単に入れないのだよということもお聞きしていたのですが、今はすぐに入所できるような状況になっているというふうに受け取ってよろしいでしょうか。

●大山委員長 菅谷課長。

●菅谷生活福祉課長 熊谷委員のご質問にお答えいたします。

待機者も保険を掛けるというような意味での待機者はいらっしゃるのですけれども、事実上は一、二ヶ月の待機で入所できるというような現状でございまして、それをあわせて実際の入所者数も減少傾向にあるということもございまして、このような減額の予算ということになっております。

以上でございます。

●大山委員長 よろしいですか。

●熊谷委員 はい、わかりました。

●大山委員長 ほかにございませんか。

本田委員。

●本田委員 77 ページの 7 目市民活動費の中の、19 節負担金補助及び交付金の一番下のタクシー乗車代補助についてなのですが、これは今年度 10 月からの実施かと思うのですが、この実績を踏まえての積算なのかなと思うのですが、まず今年度のこれまでの利用実績についてお聞きします。

●大山委員長 富永課長。

●富永企画課長 本田委員のご質問にお答えいたします。

タクシー乗車補助に関しましては、滝ノ上地区と楓・登川地区を対象にしておりますが、滝ノ上地区は実績 0 で、滝ノ上地区は頻度が低いとございまして、楓・登川地区で 1 ヶ月当たり 20 件から 30 件ほどでございます。すいません、滝ノ上は先月は 0 件ということでございます。

●大山委員長 本田委員。

●本田委員 ではお聞きしたいのは、サービスこの補助をスタートさせてから切りよくといえば先月末まで結構ですが、一体、幾らの補助金額として支出しているのかお聞きします。

●大山委員長 富永課長。

●富永企画課長 本田委員のご質問にお答えいたします。

主な使用が、楓・登川地区と申し上げましたが、毎月約 6 万から 7 万程度の支出になっておりますので、これまでで 30 万から 35 万の間ぐらいの実績でございます。

●大山委員長 本田委員。

●本田委員 では、この実績に基づいて平成 30 年度も似たような推移をするという計算での積算ということでお考えしてよろしいでしょうか。

●大山委員長 富永課長。

●富永企画課長 本田委員のご質問にお答えします。

ご指摘のとおり 29 年度の実績に応じた見込みを立てております。

●大山委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

今川委員。

●今川委員 81 ページ、4 目児童福祉施設費 13 節委託料についてお聞きいたします。

こちらの建築事業業務支援委託料、この委託業務の内容についてまずお伺いいたします。

●大山委員長 押野見課長。

●押野見教育課長 今川委員のご質問にお答えいたします。

建築事業業務支援委託料につきましては、平成 30 年度にその下にございますが、認定こども園建設工事実施設計委託、それと認定こども園造成工事実施設計委託に関する業務支援でございます。

以上です。

●大山委員長 今川委員。

●今川委員 業務支援というのは、詳しくどのような形で想定しているものでしょうか。

●大山委員長 押野見課長。

●押野見教育課長 今川委員のご質問にお答えいたします。

工事ですとか書類の作成、全体のスケジュール管理等々について、これまでは市の建設課に業務委託して行ってきた部分でございますが、昨今この工事関係が非常にふえているということ、それと人員体制も非常に厳しいということから、工事管理に関する関係について業務支援委託をしているところです。

●大山委員長 よろしいですか。

今川委員。

●今川委員 続けて、同じく 13 節委託料、こちら認定こども園建設工事実施設計委託料とその下の認定こども園造成工事実施設計委託料、こちらのこの金額はどういった方法で積算しているか、その根拠をお願いいたします。

●大山委員長 押野見課長。

●押野見教育課長 今川委員のご質問にお答えいたします。

委託料につきましては、当現課では積算できないものですから、業務委託をお願いしてですね、概算で積算していただいているところでございます。

積算の内訳も必要でございましょうか。

答弁調整をさせていただきます。

●大山委員長 答弁調整のため、休憩いたします。

午前 1 1 時 4 1 分 休憩

午前 1 1 時 4 3 分 再開

●大山委員長 会議を再開いたします。

押野見課長。

●押野見教育課長 詳細につきましては、後ほどご答弁させていただきたいと思っております。

よろしいでしょうか。

●大山委員長 今川委員。

●今川委員 後ほどということで、宜しくお願いします。

業務委託を行った業者が概算で計算してのものであるということでしたけれども、こちら計算したのはどういった業務を行っている会社になりますでしょうか。

●大山委員長 押野見課長。

●押野見教育課長 積算につきましては、教育課から建設課のほうに業務依頼をお願いして、積算していただいたものでございます。

以上です。

●大山委員長 建設課。

答弁調整のため、休憩いたします。

午前 1 1 時 4 4 分 休憩

午前 1 1 時 4 4 分 再開

●大山委員長 ただいまの件ですが、前の件もありますので後ほど一括して答弁をいただきたいと思っております。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に 4 款衛生費、84 ページから 91 ページまで。

小林委員。

●小林委員 87 ページの 7 目公害対策費、これの 18 節備品購入費。大変小さな数字で申しわけないのですが、この電子地図市システム、これらはどのような目的でこれらを購入することになったのか、またこれらはどういうシステムなのか、これについて答弁をお願いいたします。

●大山委員長 及川課長。

●及川市民課長 小林委員のご質問にお答えいたします。

電子地図システムにつきましては、自動車騒音監視業務の面的強化、法で定められたものではございますが、自動車騒音の強化業務に使用するものでございます。道路と住居の位置関係、これが必要となるものですから、常に地図会社の最新のデータが必要となるものでございます。

●大山委員長 よろしいですか。

●小林委員 はい、わかりました。

●大山委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、続いて 5 款農林業費 92 ページから 95 ページまで。

今川委員。

●今川委員 農林業費の 2 目林業振興費、94 ページですね。こちらの 15 節工事請負費植栽工及び植生保護工、こちらの各工事の施工本数と金額の内訳についてお願いいたします。

●大山委員長 古村課長。

●古村産業振興課長 今川委員のご質問にお答えいたします。

植栽工及び植生保護工 2 件になりますけれども、植栽工につきましてはキハダを昭和の山に 1 万 600 本を植栽するという予定をしております。

植生保護工につきましては、その 1 万 600 本に対しての防寒プラス鹿の侵入を防ぐための防護柵の設置を考えております。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

今川委員。

●今川委員 確認なのですが、植生保護工については既存の木を含めるものではなくて、新しく植えたキハダ 1 万 600 本についての保護監ということでよろしいでしょうか。

●大山委員長 古村課長。

●古村産業振興課長 今川委員のご質問にお答えいたします。

そのとおりでございます。

●大山委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

それでは次に 6 款商工費、96 ページ。

小林委員。

●小林委員 96 ページの観光費 15 節工事請負費 205 万 8,000 円、幸福の黄色いハンカチ広場改修工事。

先ほど大綱質問の中でも、積算の根拠、どのような物がこれに施行されるのか。その積算根拠を含めて考えをお聞かせください。

●大山委員長 古村課長。

●古村産業振興課長 小林委員の質問にお答えをさせていただきます。

工事請負費 205 万 8,000 円につきましては、ハンカチ広場駐車場から想い出の家までの延長で、約 135 メートルの部分の舗装をするものであります。

合わせまして、カフェの駐車場側の排水部分がですね、現在詰まっている状況でありまして、道路のほうに水が流れてこむというようなこともあります

ので、園路を横断するような形で配水管の補修を考えております。配水管の工事につきましては、約 27 万 5,000 円、円路の舗装工事で約 30 万程度、その他諸経費、消費税等の予算に加わっております。

以上であります。

●大山委員長 小林委員。

●小林委員 これにつきまして、先ほど市長も申していましたけれども、障がい者にも優しい部分で言う、この道路の部分でそうなのかと思えますけれども、時期的なものは、いつごろ予定をされてるのか、お願いいたします。

●大山委員長 古村課長。

●古村産業振興課長 小林委員の質問にお答えをさせていただきます。

現在、通路につきましては砂利道路となっている場所を舗装する、いわゆる車椅子でも入れるような状態にするというようなところでありまして、工期につきましてはゴールデンウィーク明けを踏まえた時点で考えております。

●大山委員長 よろしいですか。

●小林委員 わかりました。

●大山委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次に、7 款土木費、97 ページから 107 ページまで。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、8 款消防費、108 ページから 111 ページまで。

君島委員。

●君島委員 111 ページの 15 節工事請負費で、はしご車庫新築工事、車庫ありますけれども、今まで使われていた車庫というのはどのような形になるのでしょうか。

●大山委員長 増井消防長。

●増井消防長 君島委員の質問にお答えいたします。

今まで使っていた車庫は、15 メートル級が入るは

しごで、本部側の一般の車庫に収めておりました。それで新たに購入するはしごにつきましては、新たに車庫を建設するということになりました。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、9 款教育費、112 ページから 126 ページまで。

本田委員。

●本田委員 118 ページ、小学校費の 2 目学校整備費 15 節工事請負費のグラウンド遊具等設置工事について積算根拠をお聞きします。

●大山委員長 押野見課長。

●押野見教育課長 本田委員のご質問にお答えいたします。

グラウンド遊具等設置工事につきましては、夕張小学校のグラウンドに 4 連ブランコを購入し、設置する予定でございます。ブランコ設置費として約 92 万 7,000 円、境界柵の設置費と 56 万 3,000 円でございます。

以上です。

●大山委員長 本田委員。

●本田委員 わかりました。

続けて、18 節備品購入費の学校備品 73 万 4,000 円の積算根拠を教えてください。

●大山委員長 押野見課長。

●押野見教育課長 本田委員のご質問にお答えいたします。

学校備品につきましては、網戸の購入費といたしまして、42 枚を 1 階から 3 階に網戸を設置するための購入費でございます。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

本田委員。

●本田委員 ただ今の網戸の件なのですが、設置の時期がもし決まっていたら教えてください。

●大山委員長 押野見課長。

●押野見教育課長 本田委員のご質問にお答えいたします。

網戸という性質もありますので、夏までには早急に設置したいというふうに考えております。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

千葉委員。

●千葉委員 同じく 119 ページ教育振興費の備品購入費の教材教具の 64 万 9,000 円なのですが、平成 30 年度から小学校新学習指導要領に移行のために英語が始まりますけれども、この中に英語の教材教具を購入するための予算も含まれているのかどうかについてお願いいたします。

●大山委員長 押野見課長。

●押野見教育課長 千葉委員のご質問にお答えいたします。

この 64 万 9,000 円につきましては、経常的に購入するもので、英語の教材教具につきましては、済みません、答弁調整をお願いしていいですか。

●大山委員長 答弁調整のため、休憩いたします。

午前 11 時 57 分 休憩

午前 11 時 58 分 再開

●大山委員長 会議を再開いたします。

押野見課長。

●押野見教育課長 千葉委員のご質問であります。英語に関する教材教具がどの科目に含まれているにつきましては、調べさせていただいて、後ほどご回答させていただきたいと思っております。

●大山委員長 後ほどということで、よろしいですね。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは 10 款公債費、127 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次、11 款諸支出金 128 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次に、12 款予備費 129 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

ないようですので、以上で歳出の審査を終わります。

それでは 1 時まで昼食休憩といたします。

午後 0 時 0 0 分 休憩

午後 1 時 0 0 分 再開

●大山委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

午前中の今川委員と千葉委員の質問に対する答弁調整について整理ができたようでありますので、それぞれ答弁願います。

鈴木課長。

●鈴木建設課長 今川委員の教育課へのご質問について、答弁を行います。建設課よりお答えいたします。

認定こども園の設計委託料についてということですが、認定子ども園建設工事実施設計につきましては、園の建物の建築工事のための設計を行う費用であります。

造成設計につきましては、園の園庭や駐車場などの外構工事、土木工事の設計費用となります。

算出方法につきましては、国土交通省の積算基準により定めた北海道の積算方法により建設課において積算しております。設計や現地調査、打ち合わせ等に必要の人件費等、それに伴う経費等が含まれております。

委託先につきましては、建築設計と外構設計、それぞれに実績がある設計事務所・コンサルタントなどを予定しております。

以上です。

●大山委員長 押野見課長。

●押野見教育課長 千葉委員のご質問にお答えいたします。

119 ページ、教育振興費備品購入費教材教具 64 万 9,000 円についてでございますが、この内訳につきましては、小学校から教材教具として必要な物品の要望があり、その中で優先順位の高いものから設定したものでございます。

千葉委員からのご指摘がありました新学習指導要領の教材教具につきましては、113 ページ、指導研究費、需用費消耗品費 85 万円の内訳として、英語に特化したものではございませんが、新学習指導要領の移行に伴う準備期間における教材教具購入費用として、22 万 8,000 円を内訳として計上しております。

なお、英語に特化した教材教具につきましては、今後、学校と十分に協議しながら必要に応じ、来年度以降予算計上する予定でございます。

以上です。

●大山委員長 今川委員、千葉委員それぞれよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

●大山委員長 それでは、予算審査に戻ります。

職員の手当等の内訳表 132 ページから 142 ページまででありますので、ごらん願います。

●大山委員長 次に歳入に入ります。

11 ページをお開き願います。

1 款市税 16 ページまでであります。

小林委員。

●小林委員 15 ページの市税 5 番入湯税、この関係ですけれども、前年度予算・今年度予算 990 万 5,000 円ということで、これがユーパロの湯が停止していることから、この部分は 990 万 5,000 円の同じでよろしいのかどうか確認をさせていただきます。

●大山委員長 課長。

●池下税務課長 小林委員のご質問にお答えいたします。

入湯税につきましては、平成 29 年度予算においても、ユーパロの湯が不透明だったのでユーパロの湯については、予算として計上しておりません。これは、後年次推計で推計していた金額を 29 年度、30 年度と歳入しております。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

●小林委員 はい、わかりました。

●大山委員長 ほかにございませんか。

それでは、2 款地方譲渡税、17 ページから 18 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは、3 款利子割交付金、19 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは、4 款配当割交付金、20 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは、5 款株式等譲渡所得割交付金、21 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次、6 款地方消費税交付金、22 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、7 款自動車取得税交付金、23 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは、8 款地方特例交付金、24 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次に、9 款地方交付税、25 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは、10 款交通安全対策特別交付金、26 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次、11 款分担金及び負担金、27 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次、12 款使用料及び手数料、28 ページから 31 ページまで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次、13 款国庫支出金、32 ページから 35 ページまで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは、14 款道支出金、36 ページから 40 ページまで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次、15 款財産収入、41 ページから 42 ページまで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次、16 款寄附金、43 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは、17 款繰入金、44 ページから 45 ページまで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次、18 款繰越金、46 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次、19 款諸収入、47 ページから 51 ページまで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次、20 款市債、52 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは次に、8 ページをお開き願います。

第 3 表地方債が記載されておりますので、ごらん願います。

次に、1 ページをお開き願います。

第 4 条に一時借入金、第 5 条に歳出予算の流用が記載されておりますので、ごらん願います。

次に付属資料に入りますが、132 ページから 139 ページまでに給与費明細書が記載されておりますので、ご覧願います。

次に、債務負担行為に関する調書が 140 ページに記載されておりますので、ごらん願います。

次に、地方債に関する調書であります、141 ページから 142 ページまで記載されておりますので、ごらん願います。

以上で一般会計の審査が終わりました。

●大山委員長 次に国民健康保険事業会計に入ります。

143 ページから 192 ページまで一括して審査を行います。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでありますから、国民健康保険事業会計の審査を終わります。

●大山委員長 次に、市場事業会計に入ります。

193 ページから 200 ページまで一括して審査を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

ないようでありますから、市場事業会計の審査を終わります。

●大山委員長 次に、公共下水道事業会計に入ります。

201 ページから 222 ページまで一括して審査を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

ないようでありますから、公共下水道事業会計の審査を終わります。

●大山委員長 次に、介護保険事業会計に入ります。

223 ページから 273 ページまで一括して審査を行います。

千葉委員。

●千葉委員 258 ページの 4 目生活支援体制整備事業費の委託料、生活支援コーディネーター活動事業委託料なのですが、この委託事業内容と委託先の選定方法についてよろしく願いいたします。

●大山委員長 平塚課長。

●平塚保健福祉課長 ただいまの千葉委員のご質問にお答えします。

生活支援体制整備事業についてですが、コーディネーターというのは地域住民に身近な存在である市が中心となって、例えば民間企業ですとボランティアですとか、そういった生活支援サービスを今後担うような皆さんと連携しながら、今後、多様な日常生活上の支援体制の充実強化、高齢者の社会参加の推進を具体的に図っていくことを目的としています。

事業費については、今のところ委託をイメージして、事業費の積算については事務費と人件費を始めとする事業費という形になっています。

想定される事業者としては、地域福祉と介護サービスに精通した事業者を選定しようと考えています。

以上です。

●大山委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでありますから、介護保険事業会計の審査を終わります。

●大山委員長 次に、後期高齢者医療事業会計に入ります。

274 ページから 295 ページまで一括して審査を行います。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでありますから、後期高齢者医療事業会計の審査を終わります。

●大山委員長 次に、水道事業会計に入ります。

1 ページから 25 ページまで、一括して審査を行います。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでありますから、水道事業会計の審査を終わります。

●大山委員長 次に、各会計予算が終わりましたので、関連議案の審査に入ります。

議案第 15 号、議案第 18 号、議案第 20 号、議案第 21 号の 4 議案について、一括審査を受けてまいります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

●大山委員長 以上で、全ての審査が完了したので取りまとめに入ります。

本会議に報告する委員長の口答並びに文書報告の文案につきましては、正副委員長に一任させていただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

特に異議がありませんので、正副委員長に一任することといたします。

なお、委員長の口答並びに文書報告につきましては、この会議の全文が会議録に掲載されますので、結果のみの報告といたすことにしておりますので、あらかじめお含みおき願います。

●大山委員長 次に、採決に入ります。

議案第 1 号ないし議案第 7 号、議案第 15 号、議案第 18 号、議案第 20 号、議案第 21 号の 11 議案については、原案のとおり可決すべきものと決定してご異

議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がありませんので、本 11 議案については、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

●大山委員長 これで付議案件に関する審査が、全て終了いたしました。

これをもって行政常任委員会を終わります。

ご苦労さまでした。

午後 1 時 20 分 閉会

夕張市議会委員会条例第 27 条第 1 項の規定により、ここに署名する。

夕張市議会行政常任委員会

委 員 長 _____